ボーリング柱状図

調査名	一般国道375号(引宇根工区)道路改良事業に伴う測量・地質調査・設計・解析等調査業務(交付金)
事業・工事名	

ボーリングNo.	5	2	3	2	1	6	7	1	0	0	3

シートNo.

ボーリング名	BP-13V	調査位置	広島県三次市作木町香淀			北緯	34° 48' 30.3142"
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	平成29年 4月17日～平成29年 4月24日			東経	132° 46' 15.9295"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	151.14m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D1-C48型	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	13.00m								エンジン	ヤンマーNFD13-EK	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標高 m	深度 m	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数/貫入量 回/cm	N値	掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
150.99	0.15	砂	茶灰						駐車場の敷砂。														
150.74	0.40	シルト質砂	黒灰						旧表土。有機質な砂。														
149.49	1.65	砂礫	茶灰						φ4cm以下の礫と中～粗よりなる。礫は主に亜円～亜角礫で凝灰岩起源である。			1.15～1.45	16/30		4/17	100	100	S/MC	100～300	50	0	無水/0	0
		玉石混り砂礫	茶灰～暗灰						φ20cm以下の玉石、礫、中～粗砂よりなる。礫玉石は主に亜円～亜角を呈す凝灰岩起源である。		4/19 4.05	2.15～2.17	50/2		4/18	50	75	HW/DI	0～100	80～130	0	泥水/4	3～4
												3.35～4.14	33/30 50/4										
												5.23～5.35	50/12								0	泥水/4	3
												6.05～6.18	50/13										
												7.05～7.09	50/4		4/19						0	泥水/4	0
												8.15～8.34	50/19										
141.84	9.30											9.10～9.19	50/9								0	泥水/4	3～4
141.49	9.65	砂礫	茶褐灰						やや層理が存在する。φ1cm以下の礫と粗砂よりなる。														
141.14	10.00	流紋岩質溶結凝灰岩	暗褐灰～褐灰	B	Ⅲ	b	γ β	1	主に柱状～岩片状を呈す、凝灰岩。岩片は硬質である。45～60°程度のやや高角度な割れ目が顕著であり、30°以下の割れ目も一部存在する。GL-11.55m付近は粘土脈が存在する。	CL CM CL					4/20	80	66	HW/DI	100～300	100～150	0	泥水/15	13
138.34	12.80														4/24								
138.14	13.00																						

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

7[0](100)
26[51](100)
13[24](100)
12[12](100)